

東京都立西高等学校 災害発生時における対応について

陽春の候、保護者の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本校では、地震等の災害発生時における学校からの情報発信、及び安否情報収集の方法につきまして、下記のような対応を行っています。新学年となり、ご家庭におかれましても家族間の連絡方法、緊急時避難場所等につきまして、ご家族で確認されるようお願いいたします。

記

1 緊急時の学校あて安否情報連絡について（生徒 → 学校）

登下校中・休日・深夜早朝など、**生徒が学校にいない時間に大きな災害が起こった場合**、学校は全校生徒の安否確認を行います。そのような場合には以下の方法で学校に連絡してください。

● インターネットなどの通信インフラが利用可能な場合

nishi-hs@educet.plala.or.jp まで、メールで連絡してください。

全員が電話連絡を行おうとすると、数百件の着信が一斉に学校に集中することになり、他の連絡に電話が使用できなくなります。メールでの連絡を優先してください。※QRコードは読み込めない場合もあります。



または

多くのメールを確認しなくてはなりませんので、**タイトル欄（件名欄）に連絡事項を入れる形式**にします。特に連絡事項がある場合のみ、本文欄に書き込むようにしてください。

① タイトル欄に、「学年・組・番号（以上半角英数字）・（半角開けて）氏名 安否 所在場所」を入力してください。

例 タイトル欄に「1A40 宮前太郎 無事 自宅」

② 避難所等にいる場合や、何か連絡事項がある場合は、件名の最初に「緊急」の文字を入れてください。件名の最初に「緊急」と入っているメールは、開封して本文まで確認しますので、状況を本文で説明してください。

例 タイトル欄に「緊急 1A40 宮前太郎 ○○中学校避難所」
本文に「○○小学校に 1B38 × × 君と一緒にいます。家族へは連絡済。」

● インターネットが使えない場合

落ち着いて電話をできる状況になったら、学校に電話で連絡をしてください。

※（生徒へ）

インターネットが使用できる環境にある人は上記のアドレスにメールを送ってみてください。また、そのメールは別のフォルダーに保存しておき、非常時に利用してください。

※ このアドレスへ送られたメールは、緊急時及び訓練時以外は開封しません。通常の連絡等には使用しないでください。

2 Teams による緊急時連絡（学校 → 生徒）

緊急時に学校から一斉送信で連絡を伝えます。また、個別に伝える必要が生じた場合に活用することもあります。

3 Classiによる緊急時連絡（学校→保護者）

緊急時に学校から一斉送信で連絡を伝えます。

※Classiは緊急時だけでなく、学校からの諸連絡等にも利用します。

4 ツイッターによる緊急時情報発信について（学校→生徒）

- 本校では、緊急時連絡用に、ホームページによる連絡に加えて、ツイッターを活用します。東日本大震災のように、メールの送受信に大幅な遅れが出た場合でも、インターネットが使える場合には、学校がツイッターを利用して発信したメッセージを確認できます。



※QRコードは読み込めない場合もあります。

https://twitter.com/nishi_kou2018 ※ nishi の次にある文字はアンダーバーです。

（今年度は2021年ですが、アカウントはnishi_kou2018のままです。）

上記のアドレスをブックマーク（お気に入り）に登録しておいて、必要に応じて西高のホームページを確認してください。学校から情報を発信した際に、スマートフォン・携帯電話の場合は西高ホームページの下側、PCの場合は西高ホームページの右側の「ツイート」という欄の下に送られたメッセージが表示されます。「都立西高の新しいアカウントです。主に緊急時連絡用として、生徒保護者向けに情報発信します。」というメッセージが表示されています。

新たにツイッターにアカウントを登録（またはログイン）しなくても、学校からの連絡を読むことができます。なお、学校からは情報発信のみを行い、個人のツイートへの返信、及び他のアカウントのフォローは行いません。

※ ツイッターを利用する生徒への注意

本校からの連絡を読むだけなら、特に注意は必要ありません。自分の発言（ツイート）を送信すると、その文章は不特定多数の人が閲覧可能になるので注意してください。ネット上のリスクについては、さまざまな機会に提示される生徒部からの注意を参考にしてください。

5 ご家庭で話し合ってお確認しておいていただきたいこと

以下の2点につきまして、ご家庭で話し合いの上、共通確認をしておいてください。

- ① 災害時における家族の最終集合（避難）場所について
- ② 家族間の連絡方法について

※ 家族間で複数の方法を決めておいて、優先順位をつけておくことをお勧めいたします。

- （参考）災害時に利用できる連絡方法の一例を示します。 作成協力：本校PTA

a 災害用伝言ダイヤル171

蓄積伝言数：電話番号当たり20 伝言録音時間：30秒 伝言保存時間：運用期間終了まで
※システムが記録出来るのは800万コール程度。災害が発生した地域により、蓄積可能な伝言数が変わる可能性もあります。一度で有効な伝言を残せるように必要事項を話し合っておくといでしょう。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voicel71/>

体験利用提供日 毎月1日、15日（0:00～24:00）
正月三が日（1月 1日 0:00～1月3日 24:00）
防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）
防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

- 三角中継 首都圏外に住む親戚等を経由する。
- 具体的な約束を決めておく たとえば「自宅近くの避難所で朝9時と午後3時に」など
- インターネットを活用したさまざまな方法による安否確認